

平成25年度全国統一防火標語

## 消すまでは 心の警報 ONのまま

### 春の火災予防運動期間

3月1日～7日

冬から春へ季節が移り変わるこの時期は、空気が非常に乾燥して火災が発生しやすく、また強い季節風により、大火になりやすい時期です。火の元には、いつも以上に注意しましょう。

### 消火訓練や避難訓練に参加を

春の火災予防運動期間中は、市内の自治会や事業所、学校などで、防火に関する講話や消火器の取り扱い訓練など、さまざまな行事が行われます。消火訓練を未体験の人が、実際の火災で初期消火に失敗し、負傷するケースもあります。これらの行事に積極的に参加して、市民一人一人が防火について考え、火災を出さない地域づくりを目指しましょう。

### 住宅火災を防ぐために

平成25年中に津市管内で発生した火災は168件で、うち住宅火災は47件でした。住宅火災の主な出火原因は、台所のこんろ、居間や寝室のストーブ・たばこ、家の周りでの放火の疑いでした。住宅火災を防ぐためには、一人一人の心掛けが大切です。(平成25年中の数値は速報値)

#### ◆こんろによる火災を防ぐには

こんろにかけた天ぷら鍋などを放置し、火災になるケースが多く発生しています。こんろを使うときは、次のことに心掛けましょう。



- 電話や来客などで少しの間でもこんろから離れるときは、必ず火を消す。
- こんろの周りには、燃えやすいものを置かない。
- こんろやガス管などは、定期的に点検する。

#### ◆ストーブによる火災を防ぐには

寒い時期にはストーブによる火災が多くなります。ストーブを使うときは、次のことに心掛けましょう。

- 家具やカーテンに近づけないようにする。
- 周りにスプレー缶などを置かないようにする。
- 部屋に誰もいないときは必ず火を消す。
- ストーブで洗濯物を乾かさない。
- 給油するときは、必ず火を消してから行う。

#### ◆たばこによる火災を防ぐには

たばこが原因による火災は、喫煙者の火気管理がしっかりしていなかった場合や、不注意によるものです。これらを防ぐため、次のことに心掛けましょう。

- たばこは必ず灰皿のある場所で吸い、その周りは常に整理整頓しておく。
- 灰皿は縁が大きく深めのものを使い、常に水を入れておく。
- たばこを捨てるときは、水をかけるなど火が完全に消えていることを確認する。
- 布団やシーツなどの寝具類やパジャマなどの衣類は、防災品を選ぶ。

#### ◆放火による火災を防ぐには

放火による火災は、防ぎようがないと思われがちですが、いくつかの点に注意することで、放火されにくくすることができ



ます。放火されないよう、また万一放火されても被害を大きくしないよう、次のことに心掛けましょう。

- 家の周りは、外灯をつけるなど明るくし、燃えやすいものを置かない。
- ごみは、指定された日の朝以外に出さない。
- アパートの階段、通路部分は整理整頓する。
- 自転車やバイクのかごに物を入れっぱなしにしない。